

子どもたちの未来に 食の安心をつなぐ



私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産する

その考え方を国消国産といいます。



JAグループサポーター
林修

日本は今、食料の約6割を輸入に頼っています。

もしも輸入が難しくなって、必要な食べものが足りなくなったら...農畜産物は、足りなくなったからといって、すぐに生産を拡大することはできません。だから、日ごろから「国消国産」を進めることが、とても大事。「国産」をもっと食べましょう。

国産を食べると、いいこといっぱい!

<p>自給力アップで、いざというとき安心!</p>	<p>日本の農業を食べて応援できる!</p>	<p>おいしくて安全・安心な食事を実現!</p>	<p>輸送で出るCO2を減らし、SDGsに貢献!</p>
---------------------------	------------------------	--------------------------	------------------------------

国消国産が日本の食の未来をつくりまします。

国消国産をすすめる

JAグループって、何してるの?

JAグループは、日本の農業を様々な事業で支えています。

JAグループは、協同組合として、農業に携わる皆さんを、様々な事業で総合的に支えています。農畜産物をまとめて流通・販売したり、肥料や家畜のエサなどを共同で購入したり。農業に必要な技術のサポートや、農業を始める方たちの支援も行っています。

<p>農業をトータルサポート</p>	<p>病院 高齢者福祉事業</p>
<p>JA直売所</p>	<p>地域貢献 食農教育</p>
<p>共済事業</p>	<p>金融事業</p>

JAグループは、地域の暮らしを様々な事業で支えています。

JAグループは、金融や共済といった事業のほか、地域の病院や高齢者福祉施設も運営しています。また、買い物が不便な地域に移動購買車を走らせるなど、助け合いの精神で、地域の暮らしを支え続けています。

JAグループの目指す姿(2030)

- ① 持続可能な農業を実現
- ② 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現
- ③ 協同組合としての役割の発揮



JAグループを知る



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ